

神石高原町まちづくり  
アンケート調査結果報告書

令和5年12月

## 目次

第1章 調査の概要 .....	1
1 調査の目的.....	1
2 実施概要.....	1
3 調査結果の見方.....	1
第2章 町民アンケート調査の結果 .....	2
1 あなたご自身のことについて.....	2
2 定住意向などについて.....	9
3 神石高原町のまちづくりについて.....	14
4 住民参画等について.....	22
5 これからのまちづくりについて.....	28

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

神石高原町では、本町の最上位計画である「神石高原町第2次長期総合計画」が令和6年度で終期を迎えることから、次の10年間のまちづくりを進めるための検討を始めています。

このアンケート調査は、町民の皆様が生活している中で感じていることやこれからのまちづくりに向けてのお考えなどをお聞きし、計画策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

## 2 実施概要

調査期間は、令和5年11月8日(水)～11月24日(金)を期限とし、12月1日まで回収しました。配布・回収数は表のとおりです。

調査票の種類	対象	方法	配布数	回収数	回収率
町民アンケート	町内在住18歳以上	郵送配布、郵送・Webによる回収	2,000	755	37.8%
				郵送 537	
				Web 218	

## 3 調査結果の見方

- 集計結果のグラフのn値は、当該設問の回答者数を示しています。
- 集計結果における“無回答”とは、当該設問への回答なしの他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定質問」があり、その場合の「合計」は全体より少なくなっています。
- 集計結果のグラフ・表における比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- 設問には1つだけ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、表記の比率の合計は100%を超えます。
- 表中の数値の各セルの上段は回答者の実数、下段は比率（％）を示しています。
- 表における  表示は、その種別の第一位の項目（無回答を除く）を示しています。
- 記述回答について回答者から複数の意見がある場合、内容ごとに集計しているため、回答者数と意見件数が異なる場合があります。

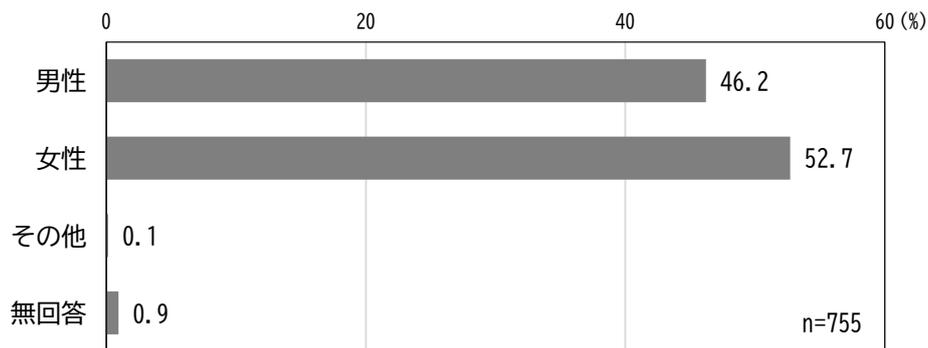
## 第2章 町民アンケート調査の結果

### 1 あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身について、それぞれの項目ごとにあてはまるものはどれですか。(1つに○印)

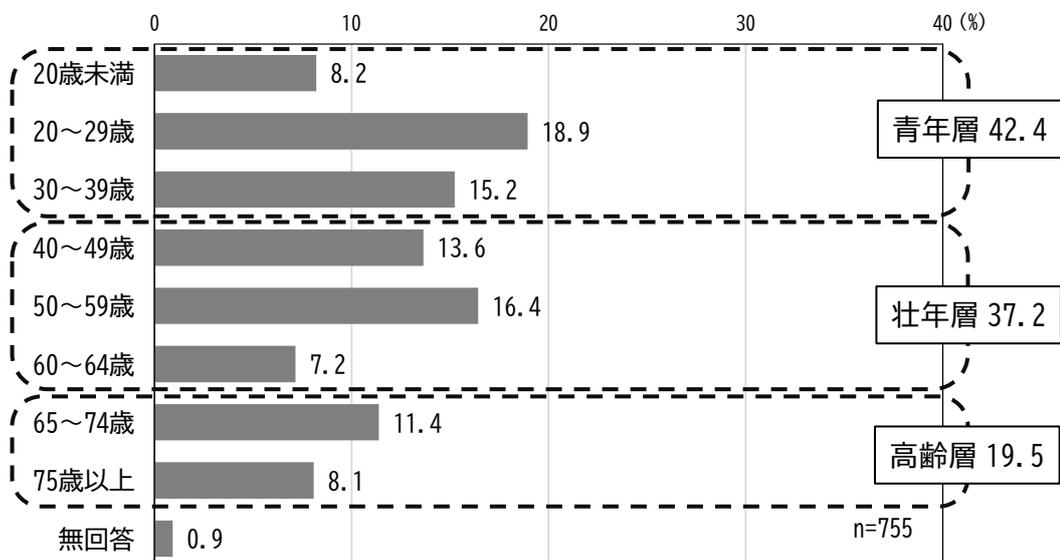
#### ① 性別

- 「男性」が46.2%、「女性」が52.7%で、「女性」が高くなっています。



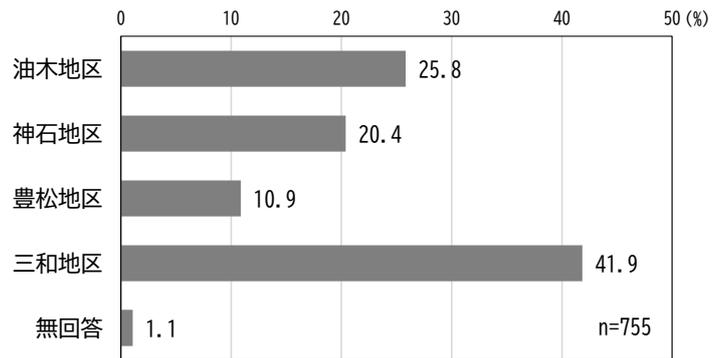
#### ② 年齢

- 「20～29歳」が18.9%で最も高く、次いで「50～59歳」が16.4%、「30～39歳」が15.2%と続きます。
- 「20歳未満」から「30～39歳」を合わせた『青年層』が42.4%、「40～49歳」から「60～64歳」を合わせた『壮年層』が37.2%、「65～74歳」と「75歳以上」を合わせた『高齢層』が19.5%で、『青年層』の回答が多くなっています。



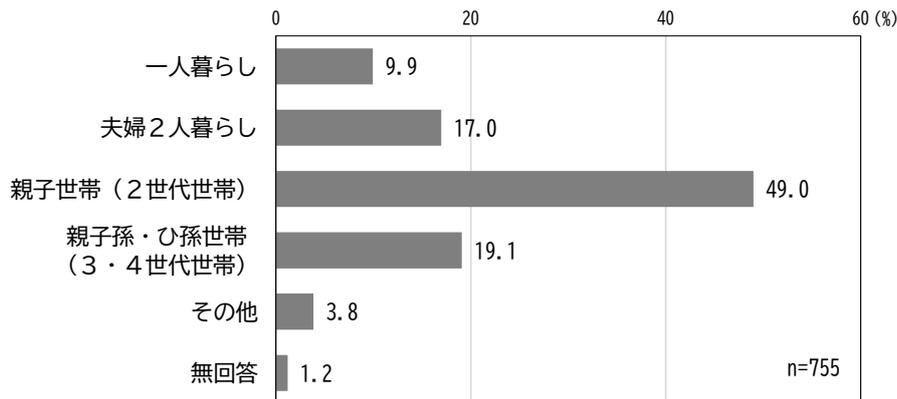
### ③ 居住地区

- 「三和地区」が41.9%で最も高く、「油木地区」が25.8%、「神石地区」が20.4%、「豊松地区」が10.9%で最も低くなっています。



### ④ 家族構成

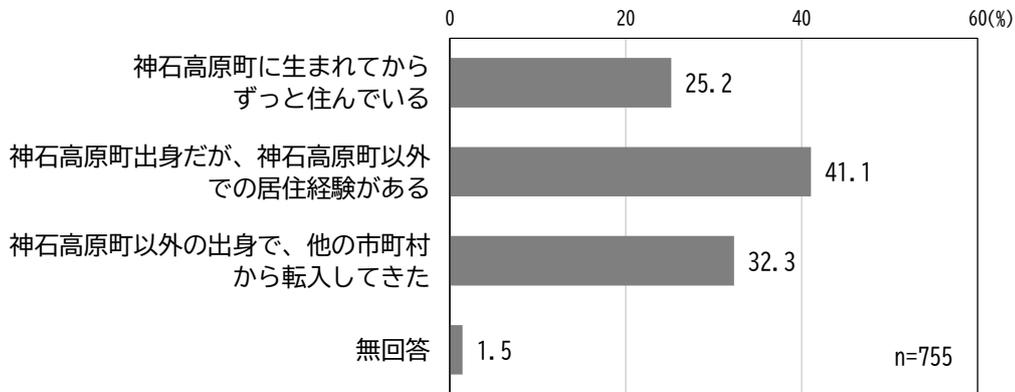
- 「親子世帯（2世代世帯）」が49.0%で最も高く、「親子孫・ひ孫世帯（3・4世代世帯）」が19.1%、「夫婦2人暮らし」が17.0%、「一人暮らし」が9.9%、「その他」が3.8%となっています。
- 年齢3区分別では、“青年層”及び“壮年層”は「親子世帯」が最も高く、“高齢層”は「夫婦2人暮らし」が最も高く、また、「一人暮らし」が他の年齢層に比べ高くなっています。



	合計	問1 ④家族構成						
		一人暮らし	夫婦2人暮らし	親子世帯（2世代世帯）	親子孫・ひ孫世帯（3・4世代世帯）	その他	無回答	
全体	755 100.0	75 9.9	128 17.0	370 49.0	144 19.1	29 3.8	9 1.2	
問3 1区 ②年齢	青年層	320 100.0	25 7.8	19 5.9	175 54.7	86 26.9	14 4.4	1 0.3
	壮年層	281 100.0	18 6.4	50 17.8	156 55.5	49 17.4	6 2.1	2 0.7
	高齢層	147 100.0	32 21.8	59 40.1	38 25.9	9 6.1	9 6.1	0 0.0
問1 ③居住地区	油木地区	195 100.0	28 14.4	37 19.0	95 48.7	26 13.3	9 4.6	0 0.0
	神石地区	154 100.0	20 13.0	25 16.2	67 43.5	33 21.4	8 5.2	1 0.6
	豊松地区	82 100.0	4 4.9	17 20.7	42 51.2	16 19.5	2 2.4	1 1.2
	三和地区	316 100.0	23 7.3	48 15.2	166 52.5	69 21.8	9 2.8	1 0.3

### ⑤ 神石高原町での居住歴

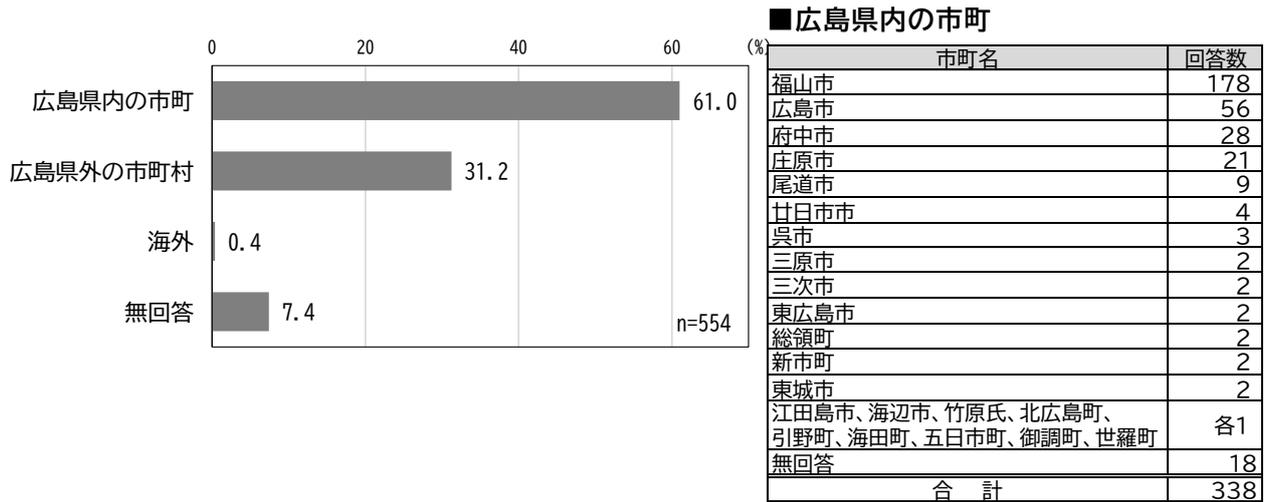
- 「神石高原出身だが、神石高原町以外での居住経験がある」が41.1%で最も高く、「神石高原町以外の出身で、他の市町村から転入してきた」が32.3%で、これらを合わせた『転入』が73.4%にのびります。一方、「神石高原町に生まれてからずっと住んでいる」は25.2%となっています。
- どの年齢層もどの居住地区も「神石高原出身だが、神石高原町以外での居住経験がある」が最も高く、「神石高原町に生まれてからずっと住んでいる」は、年齢3区分別では“高齢層”（29.9%）が、居住地区別では“三和地区”（29.4%）や“豊松地区”（28.0%）が高くなっています。
- 性別では、“男性”は「神石高原出身だが、神石高原町以外での居住経験がある」（50.4%）が、“女性”は「神石高原町以外の出身で、他の市町村から転入してきた」（44.2%）が、それぞれ最も高くなっています。



		合計	問1 ⑤神石高原町での居住歴			
			神石高原町に生まれてからずっと住んでいる	神石高原町出身だが、神石高原町以外での居住経験がある	神石高原町以外の出身で、他の市町村から転入してきた	無回答
全体		755 100.0	190 25.2	310 41.1	244 32.3	11 1.5
問3 1区 ②分 年齢	青年層	320 100.0	85 26.6	135 42.2	99 30.9	1 0.3
	壮年層	281 100.0	61 21.7	115 40.9	104 37.0	1 0.4
	高齢層	147 100.0	44 29.9	60 40.8	40 27.2	3 2.0
問1 ③居住 地区	油木地区	195 100.0	45 23.1	96 49.2	52 26.7	2 1.0
	神石地区	154 100.0	29 18.8	68 44.2	56 36.4	1 0.6
	豊松地区	82 100.0	23 28.0	31 37.8	26 31.7	2 2.4
	三和地区	316 100.0	93 29.4	114 36.1	109 34.5	0 0.0
問1 ①性別	男性	349 100.0	105 30.1	176 50.4	66 18.9	2 0.6
	女性	398 100.0	85 21.4	134 33.7	176 44.2	3 0.8
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

⑥ 神石高原町に住む前の居住地（⑤で「2」または「3」を選択した方）

- 「広島県内の市町」が61.0%、「広島県外の市町村」が31.2%、「海外」が0.4%となっています。
- 「広島県内の市町」（338人）の中では、「福山市」（52.7%）が最も多く、次いで「広島市」（16.6%）、「府中市」（8.3%）、「庄原市」（6.2%）と続きます。
- 「広島県外の市町村」（173人）の中では、「岡山県の市町」（22.5%）が最も多く、次いで「大阪府の市町」（15.6%）、「東京都の区市」（7.5%）と続きます。



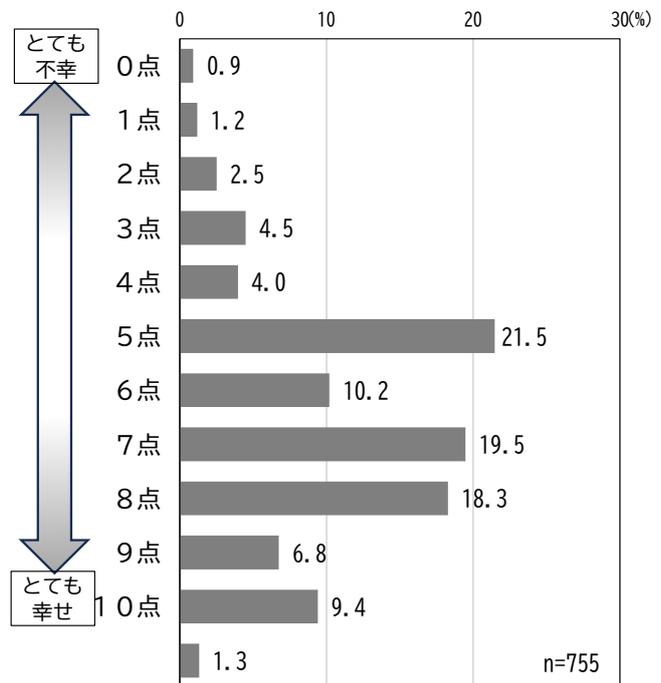
■広島県外の市町村

都道府県名	市町名	回答数	都道府県名	市町名	回答数
岡山県	未記入	8	高知県	高知市	2
	倉敷市	8		香美市、南国市、梶原街	各1
	岡山市	7		計	5
	高梁市	5	神奈川県	藤沢市	2
	井原市	3		未記入、川崎市、相模原市	各1
	笠岡市	2	計	5	
	新見市	2	福岡県	未記入	2
	津山市	2		福岡市	2
	備前市、哲西町	各1		宗像市	1
計	39	計	5		
大阪府	未記入	10	香川県	善通寺市	3
	大阪市	6		未記入	1
	茨木市	3	計	4	
	羽曳野市	2	大分県	未記入	2
	高槻市、箕面市、藤井寺市、寝屋川市、松原市、太子町	各1		茨城県	坂東市、水戸市
	計	27	岐阜県	未記入、中津川市	各1
東京都	未記入	7	宮崎県	宮崎市、高鍋町	各1
	区部	2	静岡県	静岡市、浜松市	各1
	多摩市、八王子市、町田市、東大和市	各1	石川県	白山市、輪島市	各1
	計	13	千葉県	市川市、千葉市	各1
兵庫県	未記入	3	奈良県	生駒市、桜井市	各1
	芦屋市、西宮市、加古川市、神戸市、宝塚市、姫路市、明石市	各1	沖縄県	未記入、豊見城市	各1
	計	10	愛知県	名古屋市	1
京都府	京都市	5	愛媛県	今治市	1
	未記入、宇治市、南丹市、福知山市	各1	熊本県	熊本市	1
	計	9	三重県	四日市市	1
山口県	山口市	4	山梨県	都留市	1
	防府市	2	長崎県	諫早市	1
	計	6	鳥取県	未記入	1
島根県	松江市	2	栃木県	未記入	1
	未記入、出雲市、江津市、美郷町	各1	徳島県	未記入	1
	計	6	近畿全域		1
			無回答	16	
			合計	173	

⑦ 現在の幸福度

問2 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても不幸」を10点、「とても不幸」を0点とすると、あなたの幸福度は何点くらいになりますか。(1つに○印)

- 「5点」が21.5%で最も高く、「7点」(19.5%)、「8点」(18.3%)と続きます。平均点は6.50点となっています。
- 平均点は、年齢3区分別では“青年層”が6.66点で最も高く、“高齢層”(6.55点)、“壮年層”(6.30点)と続きます。
- 居住地区別では、“三和地区”が6.64点で最も高く、“神石地区”(6.59点)、“豊松地区”(6.34点)、“油木地区”(6.29点)と続きます。
- 性別では、“女性”(6.71点)が“男性”(6.27点)に比べ高くなっています。

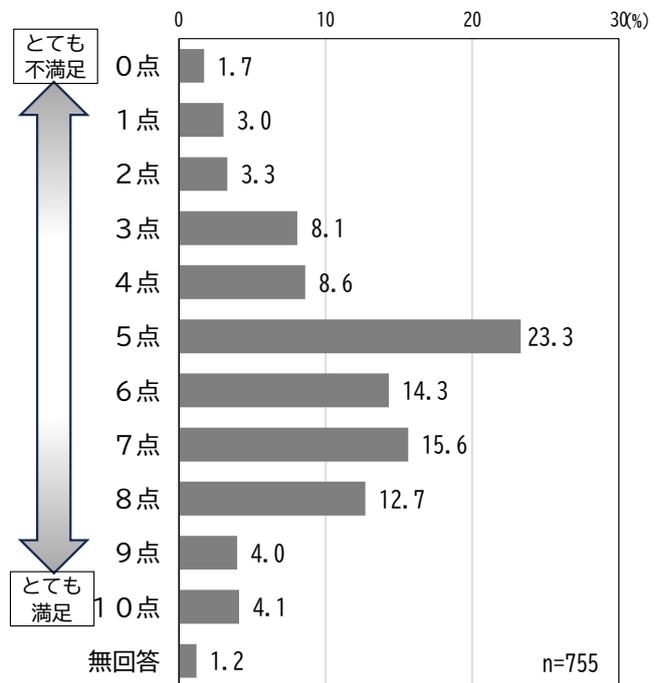


	合計	問2 現在の幸福度 (統合)				平均点	
		0~2点	3~7点	8~10点	無回答		
全体	755	35	450	260	10	6.50	
	100.0	4.6	59.6	34.4	1.3		
問3 1区 ②分 年齢	青年層	320	15	184	119	2	6.66
		100.0	4.7	57.5	37.2	0.6	
	壮年層	281	14	177	89	1	6.30
	100.0	5.0	63.0	31.7	0.4		
	高齢層	147	6	87	52	2	6.55
	100.0	4.1	59.2	35.4	1.4		
問1 ③居住 地区	油木地区	195	12	116	66	1	6.29
		100.0	6.2	59.5	33.8	0.5	
	神石地区	154	4	96	53	1	6.59
		100.0	2.6	62.3	34.4	0.6	
	豊松地区	82	5	49	28	0	6.34
	100.0	6.1	59.8	34.1	0.0		
	三和地区	316	13	188	112	3	6.64
	100.0	4.1	59.5	35.4	0.9		
問1 ①性別	男性	349	18	222	105	4	6.27
		100.0	5.2	63.6	30.1	1.1	
	女性	398	16	227	154	1	6.71
	100.0	4.0	57.0	38.7	0.3		
	その他	1	0	0	1	0	8.00
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0		

### ⑧ 現在の神石町高原の暮らしの満足度

問3 現在、あなたは神石高原町の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、あなたの満足度は何点くらいになりますか。(1つに○印)

- 「5点」が23.3%で最も高く、「7点」(15.6%)、「6点」(14.3%)と続きます。平均点は5.65点で、幸福度より低くなっています。
- 平均点は、年齢3区分別では“高齢層”が5.95点で最も高く、“青年層”(5.80点)、“壮年層”(5.35点)と続き、“壮年層”は幸福度と共に最も低くなっています。
- 居住地区別では、幸福度と同様に“三和地区”が5.73点で最も高く、“豊松地区”(5.68点)、“神石地区”(5.66点)、“油木地区”(5.55点)と続き、“油木地区”は幸福度と共に最も低くなっています。
- 性別では、幸福度と同様に“女性”(5.79点)が“男性”(5.52点)に比べ高くなっています。



	合計	問3 暮らしの満足度 (統合)				平均点	
		0~2点	3~7点	8~10点	無回答		
全体	755 100.0	61 8.1	528 69.9	157 20.8	9 1.2	5.65	
問3 ② 区分年齢	青年層	320 100.0	23 7.2	220 68.8	75 23.4	2 0.6	5.80
	壮年層	281 100.0	32 11.4	199 70.8	49 17.4	1 0.4	5.35
	高齢層	147 100.0	6 4.1	107 72.8	33 22.4	1 0.7	5.95
問1 ③ 居住地区	油木地区	195 100.0	20 10.3	135 69.2	39 20.0	1 0.5	5.55
	神石地区	154 100.0	10 6.5	111 72.1	33 21.4	0 0.0	5.66
	豊松地区	82 100.0	7 8.5	53 64.6	22 26.8	0 0.0	5.68
	三和地区	316 100.0	23 7.3	227 71.8	63 19.9	3 0.9	5.73
問1 ① 性別	男性	349 100.0	30 8.6	252 72.2	63 18.1	4 1.1	5.52
	女性	398 100.0	30 7.5	274 68.8	94 23.6	0 0.0	5.79
	その他	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	5.00

- 現在の幸福度との関係では、現在の幸福度が「0～2点」と低いと暮らしの満足度も「0～2点」と低い回答が77.1%と最も高くなっています。一方、現在の幸福度が「8～10点」と高いと暮らしの満足度も「8～10点」が53.5%と最も高く、概ね現在の幸福度と暮らしの満足度は相関しています。

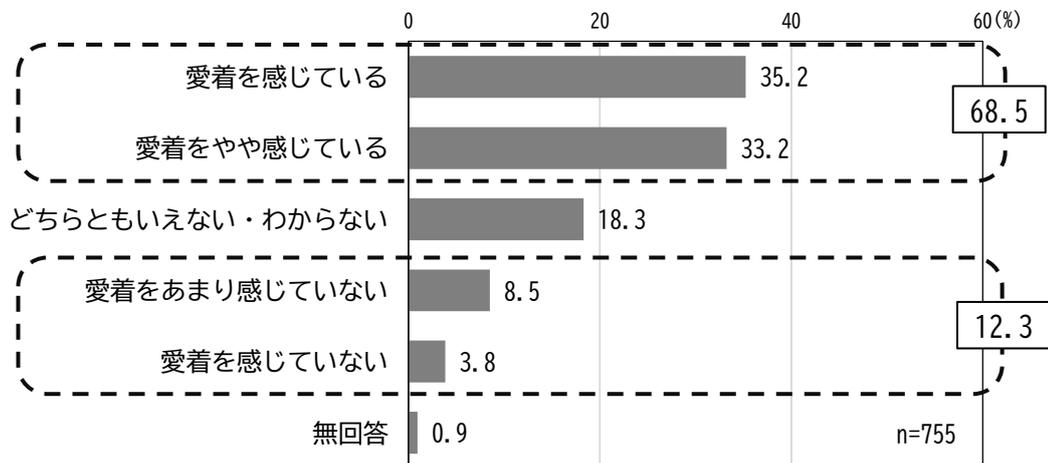
		合計	問3 暮らしの満足度 (統合)			
			0～2点	3～7点	8～10点	無回答
全体		755 100.0	61 8.1	528 69.9	156 20.7	10 1.3
問2 の幸福度 現在 (統合)	0～2点	35 100.0	27 77.1	8 22.9	0 0.0	0 0.0
	3～7点	450 100.0	28 6.2	405 90.0	17 3.8	0 0.0
	8～10点	260 100.0	6 2.3	115 44.2	139 53.5	0 0.0

## 2 定住意向などについて

### ① 神石高原町に対する愛着

問4 あなたは、神石高原町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。(1つに○印)

- 「愛着を感じている」と「愛着をやや感じている」を合わせた『愛着を感じている』が68.5%（実数による算出）、「愛着をあまり感じていない」と「愛着を感じていない」を合わせた『愛着を感じていない』が12.3%となっています。
- 年齢3区分別では、『愛着を感じている』は“青年層”（72.5%）や“高齢層”（70.1%）は7割を超え、“壮年層”は64.8%と他の年齢層に比べ低くなっています。
- 居住地区別では、『愛着を感じている』は“豊松地区”（78.0%）が最も高く、“三和地区”（71.5%）、“油木地区”（69.2%）と続き、“神石地区”（59.7%）が最も低くなっています。



	合計	問4 自分のまちとしての愛着を感じていますか						統合		
		愛着を感じている	愛着をやや感じている	どちらともいえない・わからない	愛着をあまり感じていない	愛着を感じていない	無回答	『愛着を感じている』	『愛着を感じていない』	
全体	755 100.0	266 35.2	251 33.2	138 18.3	64 8.5	29 3.8	7 0.9	68.5	12.3	
問3 1区 ②年齢	青年層	320 100.0	120 37.5	112 35.0	55 17.2	19 5.9	13 4.1	1 0.3	72.5	10.0
	壮年層	281 100.0	83 29.5	99 35.2	55 19.6	34 12.1	10 3.6	0 0.0	64.8	15.7
	高齢層	147 100.0	63 42.9	40 27.2	27 18.4	10 6.8	6 4.1	1 0.7	70.1	10.9
問1 ③居住地区	油木地区	195 100.0	66 33.8	69 35.4	35 17.9	17 8.7	8 4.1	0 0.0	69.2	12.8
	神石地区	154 100.0	53 34.4	39 25.3	34 22.1	19 12.3	8 5.2	1 0.6	59.7	17.5
	豊松地区	82 100.0	37 45.1	27 32.9	13 15.9	2 2.4	3 3.7	0 0.0	78.0	6.1
	三和地区	316 100.0	110 34.8	116 36.7	55 17.4	25 7.9	9 2.8	1 0.3	71.5	10.8

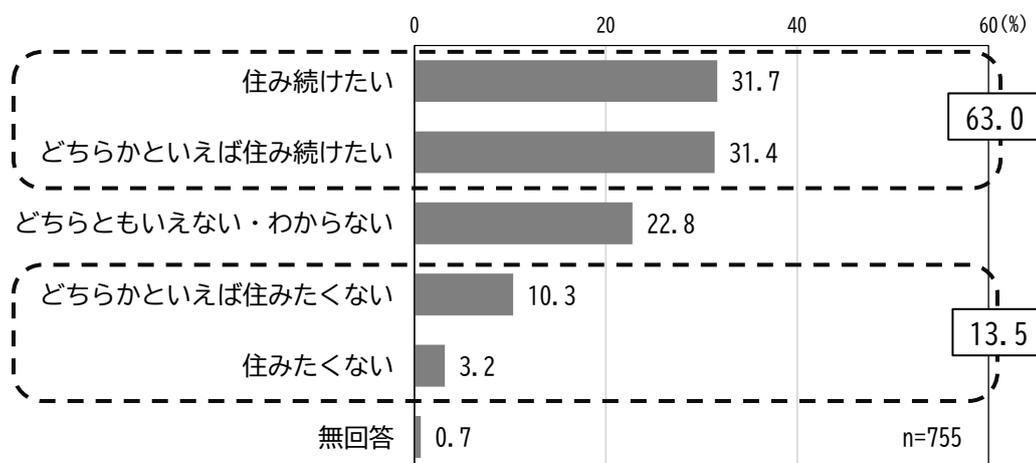
- 神石高原町での居住歴別では、『愛着を感じている』は“神石高原町出身だが、神石高原町以外での居住経験がある”(73.2%)や“神石高原町に生まれてからずっと住んでいる”(72.1%)は7割を超え、“神石高原町以外の出身で、他の市町村から転入している”は61.9%で、神石高原町出身者層に比べ10ポイント程度低くなっています。

	合計	問4 自分のまちとしての愛着を感じていますか						統合	
		愛着を感じている	愛着をやや感じている	どちらともいえない・わからない	愛着をあまり感じていない	愛着を感じていない	無回答	『愛着を感じている』	『愛着を感じていない』
全体	755 100.0	266 35.2	251 33.2	138 18.3	64 8.5	29 3.8	7 0.9	68.5	12.3
問1 ⑤神石高原町での居住歴									
神石高原町に生まれてからずっと住んでいる	190 100.0	77 40.5	60 31.6	25 13.2	18 9.5	8 4.2	2 1.1	72.1	13.7
神石高原町出身だが、神石高原町以外での居住経験がある	310 100.0	124 40.0	103 33.2	53 17.1	22 7.1	8 2.6	0 0.0	73.2	9.7
神石高原町以外の出身で、他の市町村から転入してきた	244 100.0	63 25.8	88 36.1	58 23.8	23 9.4	12 4.9	0 0.0	61.9	14.3

## ② 神石高原町に住み続けたいかどうか

問5 あなたは、これからも神石高原町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

- 「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』が63.0%（実数による算出）、「どちらかといえば住みたくない」と「住みたくない」を合わせた『住みたくない』が13.5%となっています。
- 年齢3区分別では、『住み続けたい』は“高齢層”(76.2%)が最も高く、“青年層”(60.9%)と“壮年層”(59.8%)がおおよそ6割で大きな差はありません。
- 居住地区別では、『住み続けたい』は“三和地区”(67.7%)が最も高く、“豊松地区”(64.6%)、“油木地区”(61.5%)と続き、神石高原町に対する愛着と同様に、“神石地区”(57.1%)が最も低くなっています。



- 神石高原町での居住歴別では、『住み続けたい』は“神石高原町出身だが、神石高原町以外での居住経験がある”（67.4%）や“神石高原町に生まれてからずっと住んでいる”（65.8%）は6割を超え、“神石高原町以外の出身で、他の市町村から転入している”は56.1%で、神石高原町出身者層に比べ10ポイント程度低くなっています。

		合計	問5 これからも住み続けたいと思いますか					統合		
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらともいえない・わからない	どちらかといえば住みたくない	住みたくない	無回答	『住み続けたい』	『住みたくない』
全体		755 100.0	239 31.7	237 31.4	172 22.8	78 10.3	24 3.2	5 0.7	63.0	13.5
問3 1区 ②分 年齢	青年層	320 100.0	87 27.2	108 33.8	87 27.2	27 8.4	10 3.1	1 0.3	60.9	11.6
	壮年層	281 100.0	85 30.2	83 29.5	64 22.8	39 13.9	10 3.6	0 0.0	59.8	17.4
	高齢層	147 100.0	66 44.9	46 31.3	20 13.6	11 7.5	4 2.7	0 0.0	76.2	10.2
問1 ③居住 地区	油木地区	195 100.0	52 26.7	68 34.9	49 25.1	18 9.2	8 4.1	0 0.0	61.5	13.3
	神石地区	154 100.0	46 29.9	42 27.3	43 27.9	21 13.6	2 1.3	0 0.0	57.1	14.9
	豊松地区	82 100.0	32 39.0	21 25.6	19 23.2	6 7.3	4 4.9	0 0.0	64.6	12.2
	三和地区	316 100.0	108 34.2	106 33.5	60 19.0	32 10.1	9 2.8	1 0.3	67.7	13.0

		合計	問5 これからも住み続けたいと思いますか					統合		
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらともいえない・わからない	どちらかといえば住みたくない	住みたくない	無回答	『住み続けたい』	『住みたくない』
全体		755 100.0	239 31.7	237 31.4	172 22.8	78 10.3	24 3.2	5 0.7	63.0	13.5
問1 ⑤神 石高 原 町 で の 居 住 歴	神石高原町に生まれてからずっと住んでいる	190 100.0	65 34.2	60 31.6	44 23.2	15 7.9	5 2.6	1 0.5	65.8	10.5
	神石高原町出身だが、神石高原町以外での居住経験がある	310 100.0	108 34.8	101 32.6	63 20.3	27 8.7	11 3.5	0 0.0	67.4	12.3
	神石高原町以外の出身で、他の市町村から転入してきた	244 100.0	62 25.4	75 30.7	64 26.2	35 14.3	8 3.3	0 0.0	56.1	17.6

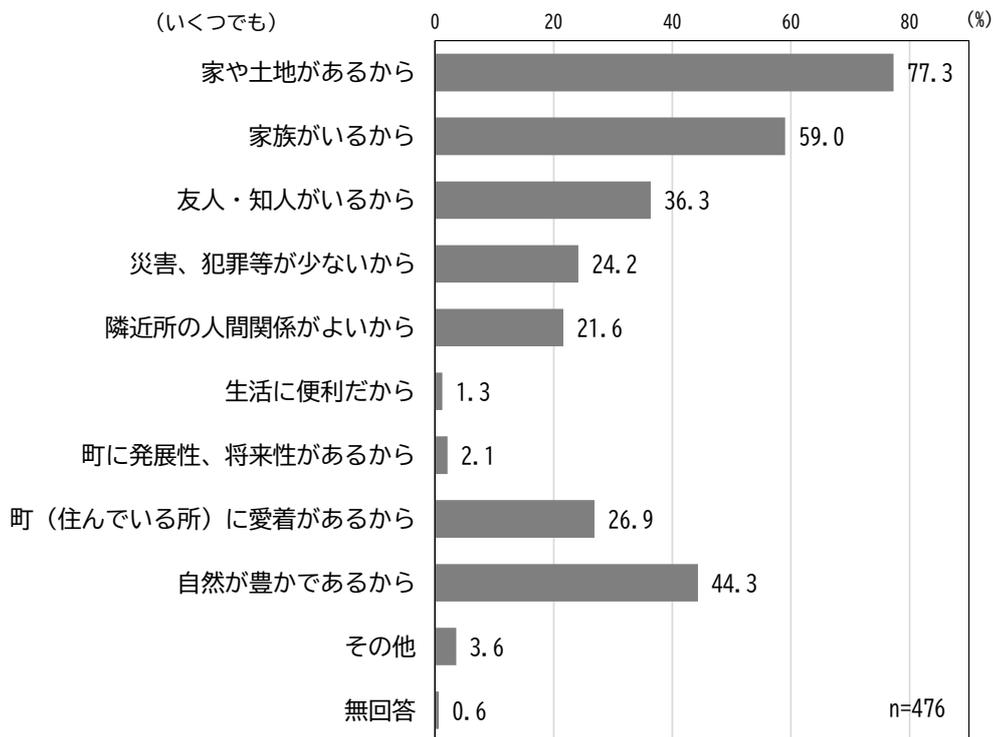
		合計	問5 これからも住み続けたいと思いますか					統合		
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらともいえない・わからない	どちらかといえば住みたくない	住みたくない	無回答	『住み続けたい』	『住みたくない』
全体		755 100.0	239 31.7	237 31.4	172 22.8	78 10.3	24 3.2	5 0.7	63.0	13.5
問4 自分 の ま ち と し て の 愛 着 を 感 じ て い ま す か	愛着を感じている	266 100.0	168 63.2	73 27.4	21 7.9	4 1.5	0 0.0	0 0.0	90.6	1.5
	愛着をやや感じている	251 100.0	55 21.9	121 48.2	59 23.5	13 5.2	3 1.2	0 0.0	70.1	6.4
	どちらともいえない・わからない	138 100.0	14 10.1	32 23.2	69 50.0	22 15.9	1 0.7	0 0.0	33.3	16.7
	愛着をあまり感じていない	64 100.0	0 0.0	8 12.5	17 26.6	32 50.0	7 10.9	0 0.0	12.5	60.9
	愛着を感じていない	29 100.0	0 0.0	3 10.3	6 20.7	7 24.1	13 44.8	0 0.0	10.3	69.0

### ③ 神石高原町に住み続けたい理由

※問5で「1」または「2」に○をつけた方におたずねします。

問5-1 神石高原町に住み続けたい理由は何ですか。(○印はいくつでも)

- 「家や土地があるから」が77.3%で最も高く、次いで「家族がいるから」(59.0%)、「自然が豊かであるから」(44.3%)、「友人・知人がいるから」(36.3%)と続きます。
- 年齢3区分別、居住地区別にみても、「家や土地があるから」が最も高く、次いで「家族がいるから」と続きます。また、“豊松地区”では、「隣近所の人間関係がよいから」が35.8%で、他地区に比べて高くなっています。



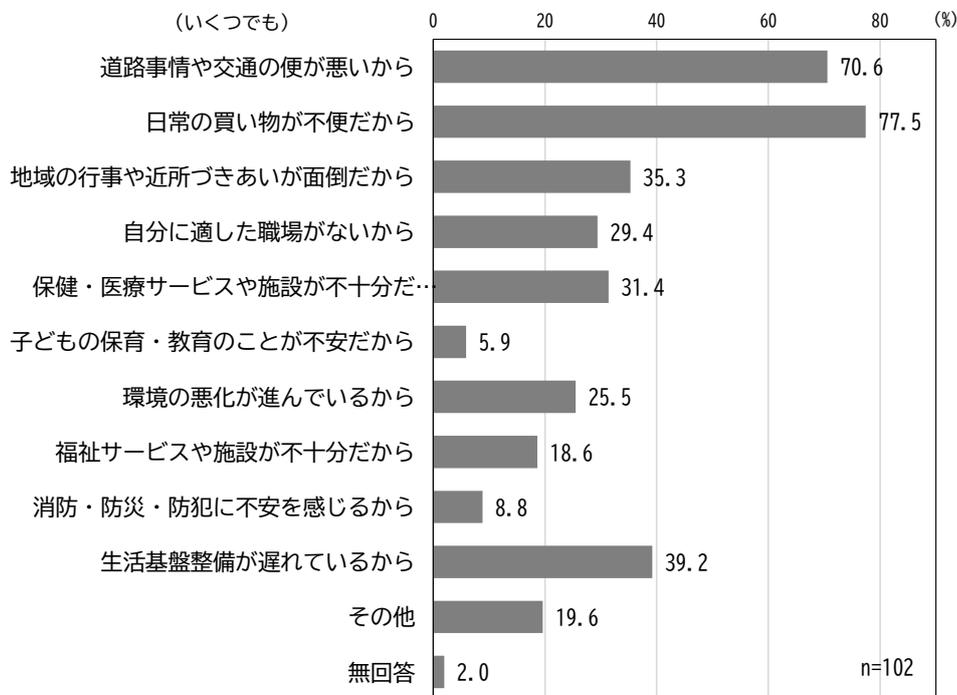
	合計	問5-1 住み続けたい理由											
		家や土地があるから	家族がいるから	友人・知人がいるから	災害、犯罪等が少ないから	隣近所の人間関係がよいから	生活に便利だから	町に発展性、将来性があるから	町（住んでいる所）に愛着があるから	自然が豊かであるから	その他	無回答	
全体	476 100.0	368 77.3	281 59.0	173 36.3	115 24.2	103 21.6	6 1.3	10 2.1	128 26.9	211 44.3	17 3.6	3 0.6	
問3区②年齢	青年層	195 100.0	147 75.4	131 67.2	74 37.9	45 23.1	39 20.0	2 1.0	9 4.6	62 31.8	97 49.7	9 4.6	1 0.5
	壮年層	168 100.0	128 76.2	99 58.9	52 31.0	36 21.4	34 20.2	2 1.2	1 0.6	36 21.4	66 39.3	5 3.0	2 1.2
	高齢層	112 100.0	93 83.0	51 45.5	47 42.0	34 30.4	30 26.8	2 1.8	0 0.0	30 26.8	48 42.9	2 1.8	0 0.0
問1③居住地区	油木地区	120 100.0	101 84.2	71 59.2	43 35.8	34 28.3	20 16.7	1 0.8	3 2.5	35 29.2	62 51.7	4 3.3	1 0.8
	神石地区	88 100.0	60 68.2	52 59.1	29 33.0	19 21.6	14 15.9	1 1.1	1 1.1	18 20.5	39 44.3	2 2.3	0 0.0
	豊松地区	53 100.0	38 71.7	37 69.8	21 39.6	11 20.8	19 35.8	1 1.9	0 0.0	20 37.7	20 37.7	0 0.0	1 1.9
	三和地区	214 100.0	169 79.0	121 56.5	80 37.4	51 23.8	50 23.4	3 1.4	6 2.8	55 25.7	90 42.1	10 4.7	1 0.5

#### ④ 神石高原町に住み続けたくない理由

※問5で「4」または「5」に○をつけた方におたずねします。

問5-2 神石高原町に住み続けたくない理由はなんですか。(○印はいくつでも)

- 「日常の買い物が不便だから」が77.5%で最も高く、次いで「道路事情や交通の便が悪いから」(70.6%)が特に高くなっています。
- 年齢3区分別では、“青年層”及び“壮年層”は「日常の買い物が不便だから」が、“高齢層”は「道路事情や交通の便が悪いから」が、それぞれ最も高くなっています。また、“青年層”及び“壮年層”は、「自分に適した職場がないから」が“高齢層”に比べ高く、“高齢層”は「環境の悪化が進んでいるから」が高くなっています。
- 居住地区別では、“神石地区”及び“豊松地区”は「道路事情や交通の便が悪いから」が、“油木地区”及び“三和地区”は「日常の買い物が不便だから」が、それぞれ最も高くなっています。



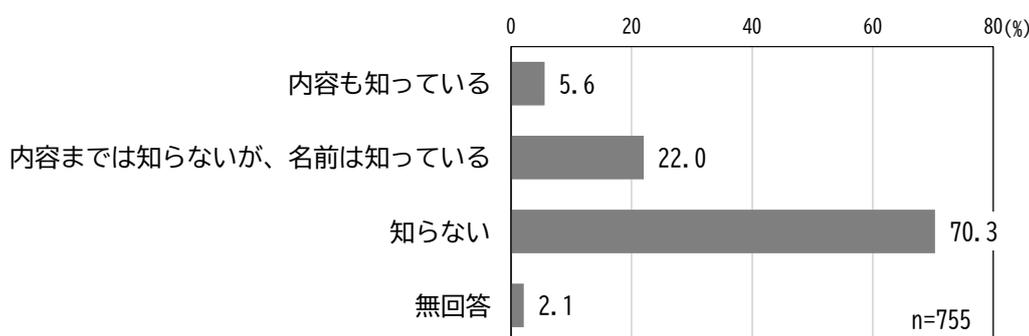
	合計	問5-2 住み続けたくない理由											無回答
		道路事情や交通の便が悪いから	日常の買い物が不便だから	地域の行事や近所づきあいが面倒だから	自分に適した職場がないから	保健・医療サービスや施設が不十分だから	子どもの保育・教育のことが不安だから	環境の悪化が進んでいるから	福祉サービスや施設が不十分だから	消防・防災・防犯に不安を感じるから	生活基盤整備が遅れているから	その他	
全体	102	72	79	36	30	32	6	26	19	9	40	20	2
	100.0	70.6	77.5	35.3	29.4	31.4	5.9	25.5	18.6	8.8	39.2	19.6	2.0
問1 3区 ②年齢	青年層	37	28	29	16	14	10	3	5	5	14	9	0
		100.0	75.7	78.4	43.2	37.8	27.0	8.1	13.5	13.5	37.8	24.3	0.0
	壮年層	49	32	39	16	15	18	3	14	12	2	19	6
	100.0	65.3	79.6	32.7	30.6	36.7	6.1	28.6	24.5	4.1	38.8	12.2	4.1
高齢層	15	11	10	4	1	3	0	7	2	2	6	5	0
	100.0	73.3	66.7	26.7	6.7	20.0	0.0	46.7	13.3	13.3	40.0	33.3	0.0
問1 ③居住地区	油木地区	26	18	21	5	9	11	2	13	5	11	4	1
		100.0	69.2	80.8	19.2	34.6	42.3	7.7	50.0	19.2	42.3	15.4	3.8
	神石地区	23	18	17	8	5	5	0	2	3	8	6	0
		100.0	78.3	73.9	34.8	21.7	21.7	0.0	8.7	13.0	4.3	34.8	26.1
豊松地区	10	6	5	3	5	2	0	1	0	0	3	5	0
	100.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	50.0	0.0
三和地区	41	28	35	20	11	13	4	10	11	7	17	5	1
	100.0	68.3	85.4	48.8	26.8	31.7	9.8	24.4	26.8	17.1	41.5	12.2	2.4

### 3 神石高原町のまちづくりについて

#### ① 「神石高原町第2次長期総合計画」の認知度

問6 神石高原町のまちづくりの最上位計画である「神石高原町第2次長期総合計画」について、ご存知ですか。(1つに○印)

- 「知らない」が70.3%、一方、「内容も知っている」が5.6%となっています。
- 年齢3区分別、居住地区別、性別にみても、「知らない」が最も高くなっています。「内容を知っている」は、年齢3区分別では“青年層”(7.2%)が、居住地区別では“三和地区”(8.5%)が、性別では“男性”(8.3%)が、それぞれ最も高くなっています。



		合計	問6 第2次長期総合計画を知っていますか			
			内容も知っている	内容までは知らないが、名前は知っている	知らない	無回答
	全体	755 100.0	42 5.6	166 22.0	531 70.3	16 2.1
問 3 区 分 年 齢	青年層	320 100.0	23 7.2	63 19.7	227 70.9	7 2.2
	壮年層	281 100.0	11 3.9	59 21.0	211 75.1	0 0.0
	高齢層	147 100.0	8 5.4	44 29.9	92 62.6	3 2.0
問 1 ③ 居 住 地 区	油木地区	195 100.0	7 3.6	43 22.1	141 72.3	4 2.1
	神石地区	154 100.0	4 2.6	32 20.8	115 74.7	3 1.9
	豊松地区	82 100.0	4 4.9	23 28.0	55 67.1	0 0.0
	三和地区	316 100.0	27 8.5	68 21.5	217 68.7	4 1.3
問 1 ① 性 別	男性	349 100.0	29 8.3	74 21.2	243 69.6	3 0.9
	女性	398 100.0	13 3.3	92 23.1	285 71.6	8 2.0
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

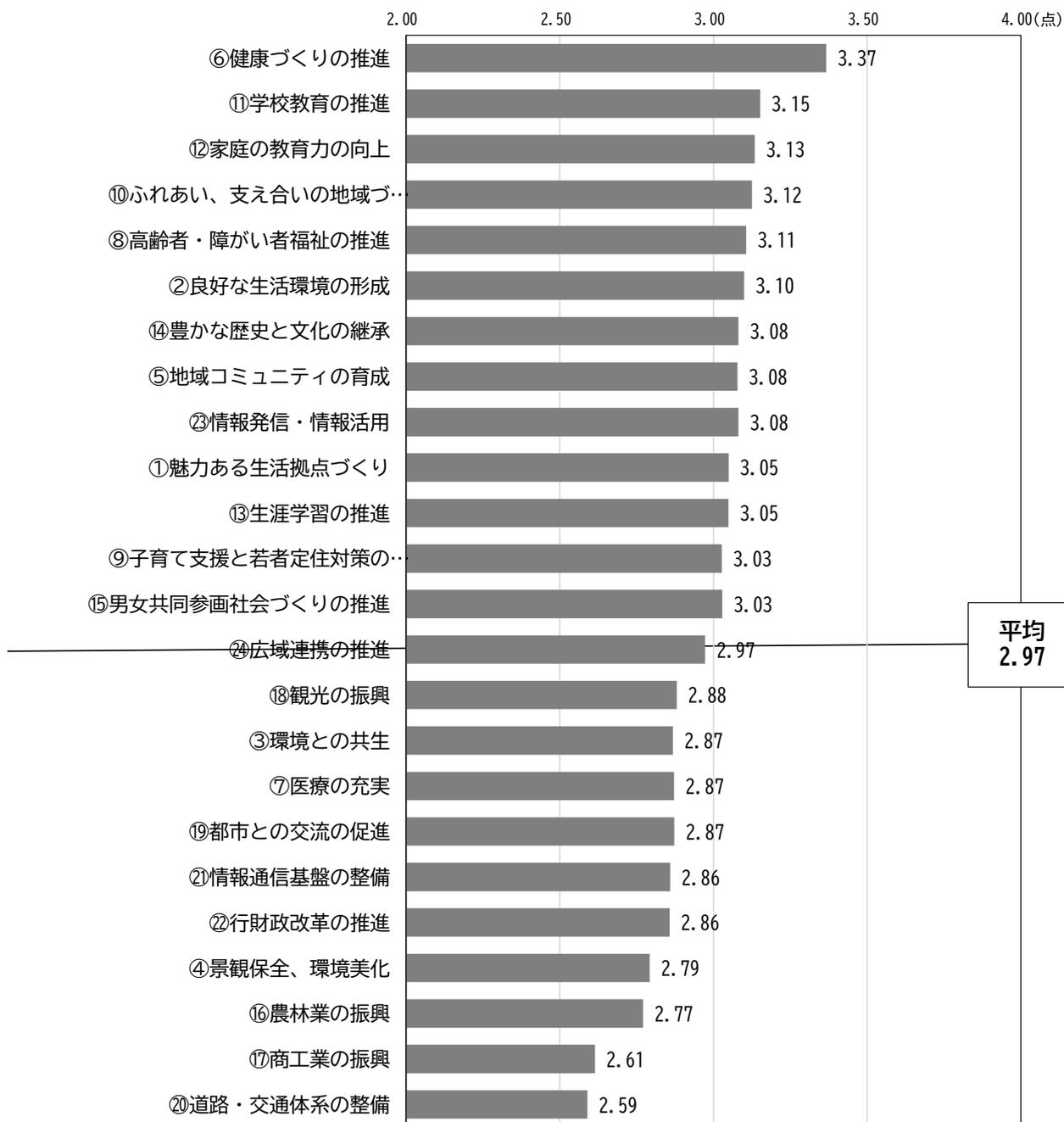
問7 神石高原町のこれまでの取り組みについて、具体的にあなたはどのくらい満足し、また、重要とお考えですか。(各項目について、「満足度」、「重要度」からそれぞれ1つずつに○印)

## ② 満足度 (各項目で1つに○印)

- 「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、【⑥健康づくりの推進】が36.3%で最も高く、次いで【⑦医療の充実】(28.5%)、【⑪学校教育の推進】(26.9%)と続きます。
- 一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は、【⑳道路・交通体系の整備】が42.8%で最も高く、次いで【⑰商工業の振興】(35.2%)、【⑦医療の充実】(34.4%)と続きます。



- 満足度を点数化したうえで順位付けを行ったのが、下記のグラフです。【⑥健康づくりの推進】(3.37)が最も高く、【⑳道路・交通体系の整備】(2.59)が最も低くなっています。また、満足度全体の平均は「2.97」となります。



※満足度の平均点の算出方法 (加重平均)

$$\frac{\text{満足} \times 5 \text{点} + \text{やや満足} \times 4 \text{点} + \text{どちらとも言えない} \times 3 \text{点} + \text{やや不満} \times 2 \text{点} + \text{不満} \times 1 \text{点}}{\text{回答者数 (無回答を除く)}}$$

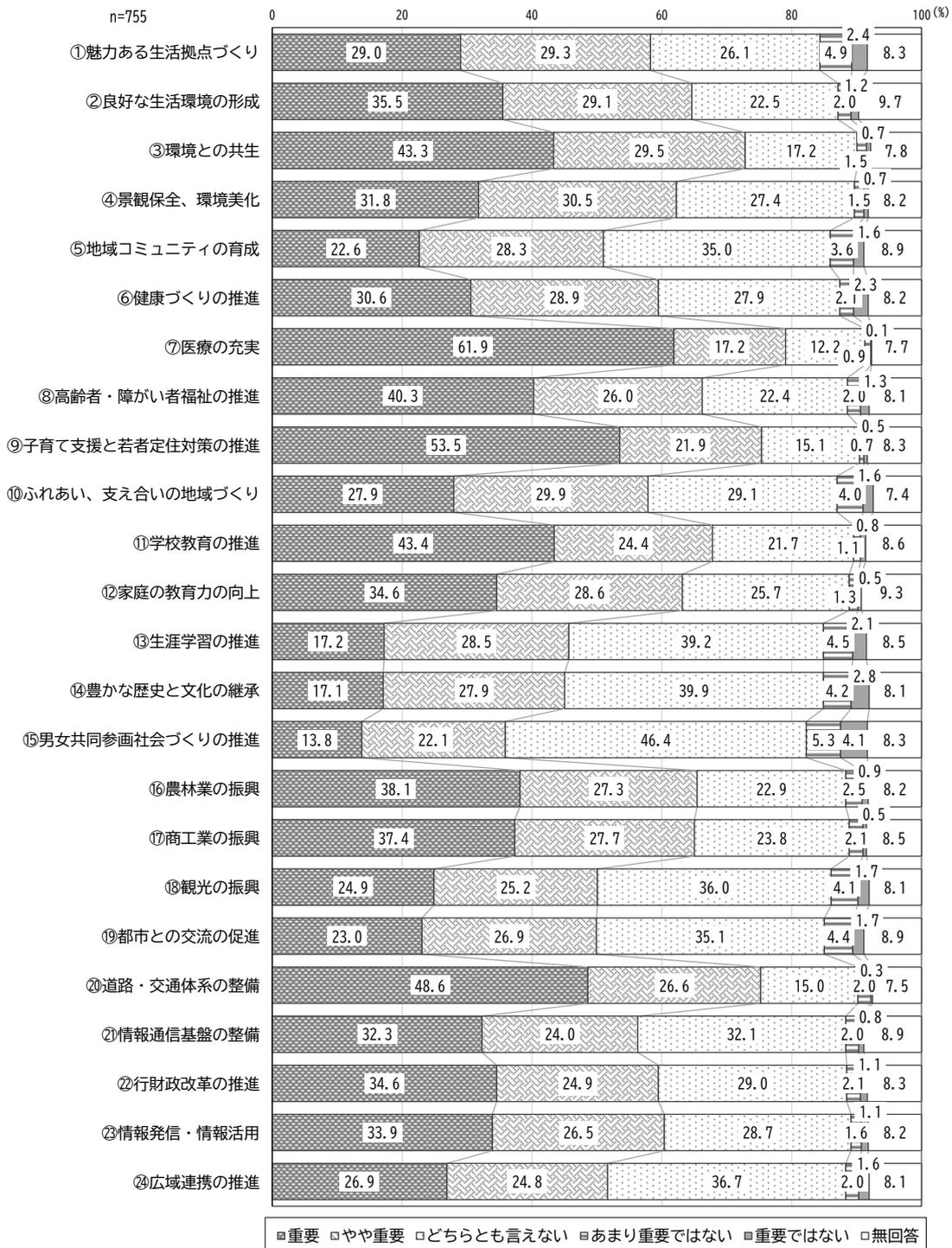
- 年齢3区分別、居住地区別、性別にみても、【⑥健康づくりの推進】が、それぞれ最も高くなっています。一方、最も低い項目は、年齢3区分別の“青年層”及び居住地区別の“三和地区”が【⑰商工業の振興】で、それ以外は【⑳道路・交通体系の整備】となっています。

項目	年齢3区分別			居住地区別			
	青年層	壮年層	高齢層	油木地区	神石地区	豊松地区	三和地区
①魅力ある生活拠点づくり	3.09	3.03	3.00	2.98	3.00	3.25	3.06
②良好な生活環境の形成	3.21	3.02	3.00	2.96	2.99	3.16	3.21
③環境との共生	3.15	2.67	2.57	2.77	2.66	3.04	2.97
④景観保全、環境美化	2.95	2.72	2.55	2.79	2.71	2.92	2.79
⑤地域コミュニティの育成	3.19	2.97	3.03	3.03	3.11	3.16	3.07
⑥健康づくりの推進	3.42	3.27	3.47	3.37	3.37	3.43	3.35
⑦医療の充実	2.83	2.73	3.26	2.82	2.83	2.95	2.90
⑧高齢者・障がい者福祉の推進	3.20	2.94	3.22	3.05	3.15	3.30	3.07
⑨子育て支援と若者定住対策の推進	3.11	2.95	2.98	3.01	2.98	2.93	3.08
⑩ふれあい、支え合いの地域づくり	3.24	3.00	3.12	3.02	3.17	3.27	3.12
⑪学校教育の推進	3.23	3.06	3.15	3.14	3.08	3.32	3.15
⑫家庭の教育力の向上	3.17	3.06	3.19	3.07	3.04	3.32	3.17
⑬生涯学習の推進	3.07	3.01	3.07	3.07	3.08	3.04	3.02
⑭豊かな歴史と文化の継承	3.14	3.01	3.08	3.09	3.08	2.96	3.10
⑮男女共同参画社会づくりの推進	3.13	2.94	2.98	2.98	3.02	3.01	3.06
⑯農林業の振興	2.95	2.66	2.57	2.78	2.74	2.80	2.77
⑰商工業の振興	2.76	2.51	2.49	2.61	2.62	2.67	2.60
⑱観光の振興	2.93	2.83	2.87	2.89	2.87	2.92	2.86
⑲都市との交流の促進	2.94	2.80	2.87	2.89	2.83	2.95	2.86
⑳道路・交通体系の整備	2.79	2.43	2.46	2.59	2.52	2.53	2.64
㉑情報通信基盤の整備	2.87	2.75	3.06	2.88	2.79	2.80	2.88
㉒行財政改革の推進	2.98	2.73	2.82	2.77	2.84	3.14	2.84
㉓情報発信・情報活用	3.17	2.96	3.13	2.97	3.06	3.31	3.10
㉔広域連携の推進	3.04	2.91	2.95	2.97	2.83	3.03	3.03
平均	3.06	2.87	2.95	2.94	2.93	3.05	2.99

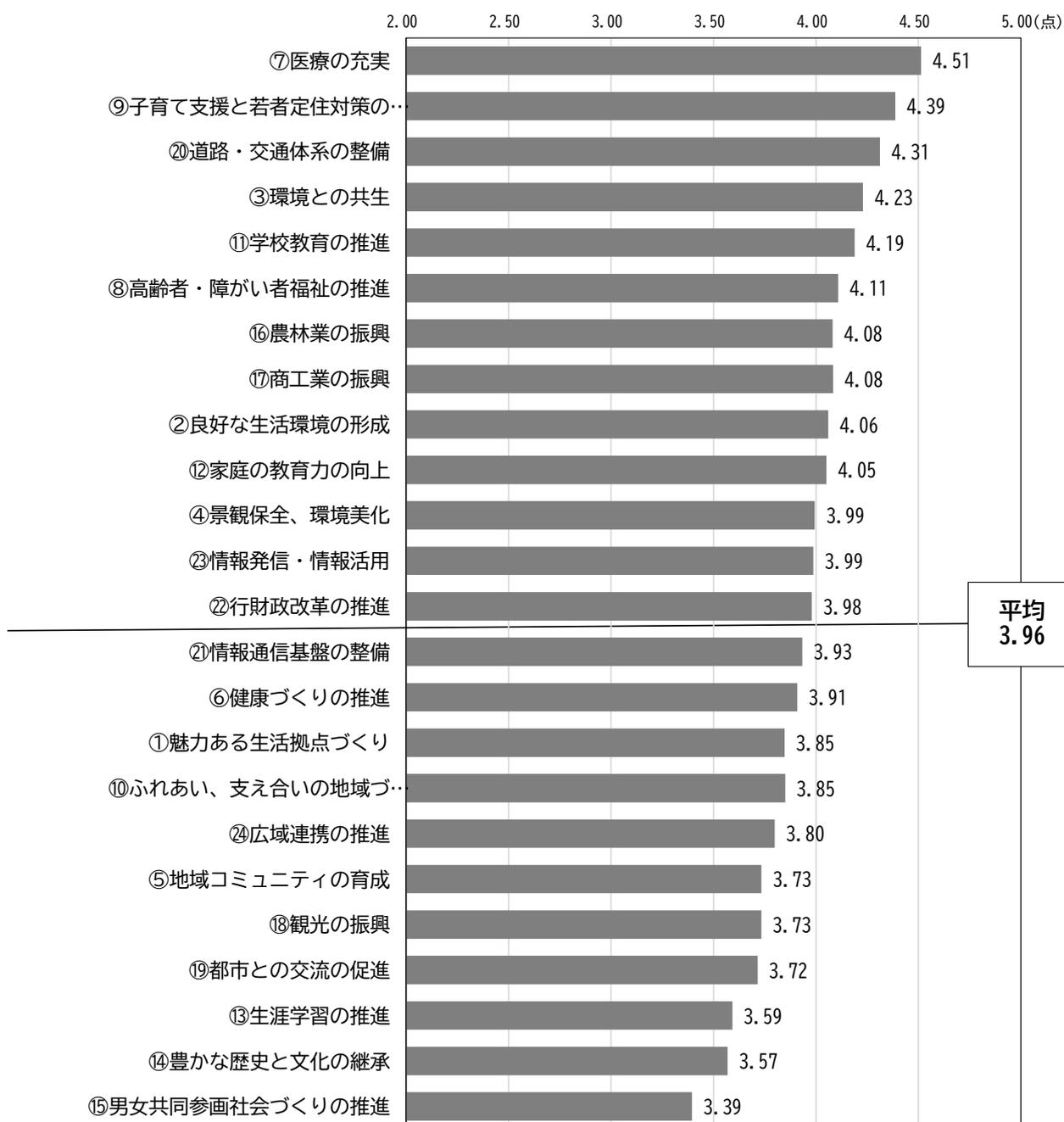
項目	性別	
	男性	女性
①魅力ある生活拠点づくり	2.97	3.12
②良好な生活環境の形成	3.07	3.13
③環境との共生	2.82	2.90
④景観保全、環境美化	2.81	2.78
⑤地域コミュニティの育成	3.05	3.10
⑥健康づくりの推進	3.30	3.43
⑦医療の充実	2.98	2.78
⑧高齢者・障がい者福祉の推進	3.10	3.11
⑨子育て支援と若者定住対策の推進	2.97	3.08
⑩ふれあい、支え合いの地域づくり	3.06	3.17
⑪学校教育の推進	3.12	3.19
⑫家庭の教育力の向上	3.13	3.14
⑬生涯学習の推進	3.01	3.08
⑭豊かな歴史と文化の継承	3.01	3.15
⑮男女共同参画社会づくりの推進	3.03	3.03
⑯農林業の振興	2.73	2.81
⑰商工業の振興	2.58	2.64
⑱観光の振興	2.83	2.93
⑲都市との交流の促進	2.82	2.92
⑳道路・交通体系の整備	2.57	2.61
㉑情報通信基盤の整備	2.84	2.88
㉒行財政改革の推進	2.83	2.88
㉓情報発信・情報活用	3.08	3.09
㉔広域連携の推進	2.98	2.97
平均	2.94	3.00

### ③ 重要度（各項目で1つに○印）

- 「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』は、【⑦医療の充実】が79.1%で最も高く、次いで【⑨子育て支援と若者定住対策の推進】（75.4%）、【⑳道路・交通体系の整備】（75.2%）と続きます。
- 一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた『重要ではない』は、【⑮男女共同参画社会づくりの推進】が9.4%で最も高く、次いで【①魅力ある生活拠点づくり】（7.3%）、【⑭豊かな歴史と文化の継承】（7.0%）と続きます。



- 重要度を点数化したうえで順位付けを行ったのが、下記のグラフです。【⑦医療の充実】(4.51)が最も高く、【⑮男女共同参画社会づくりの推進】(3.39)が最も低くなっています。また、重要度全体の平均は「3.96」となります。



※重要度の平均点の算出方法（加重平均）

$$\frac{\text{重要} \times 5 \text{点} + \text{やや重要} \times 4 \text{点} + \text{どちらとも言えない} \times 3 \text{点} + \text{あまり重要ではない} \times 2 \text{点} + \text{重要ではない} \times 1 \text{点}}{\text{回答者数（無回答を除く）}}$$

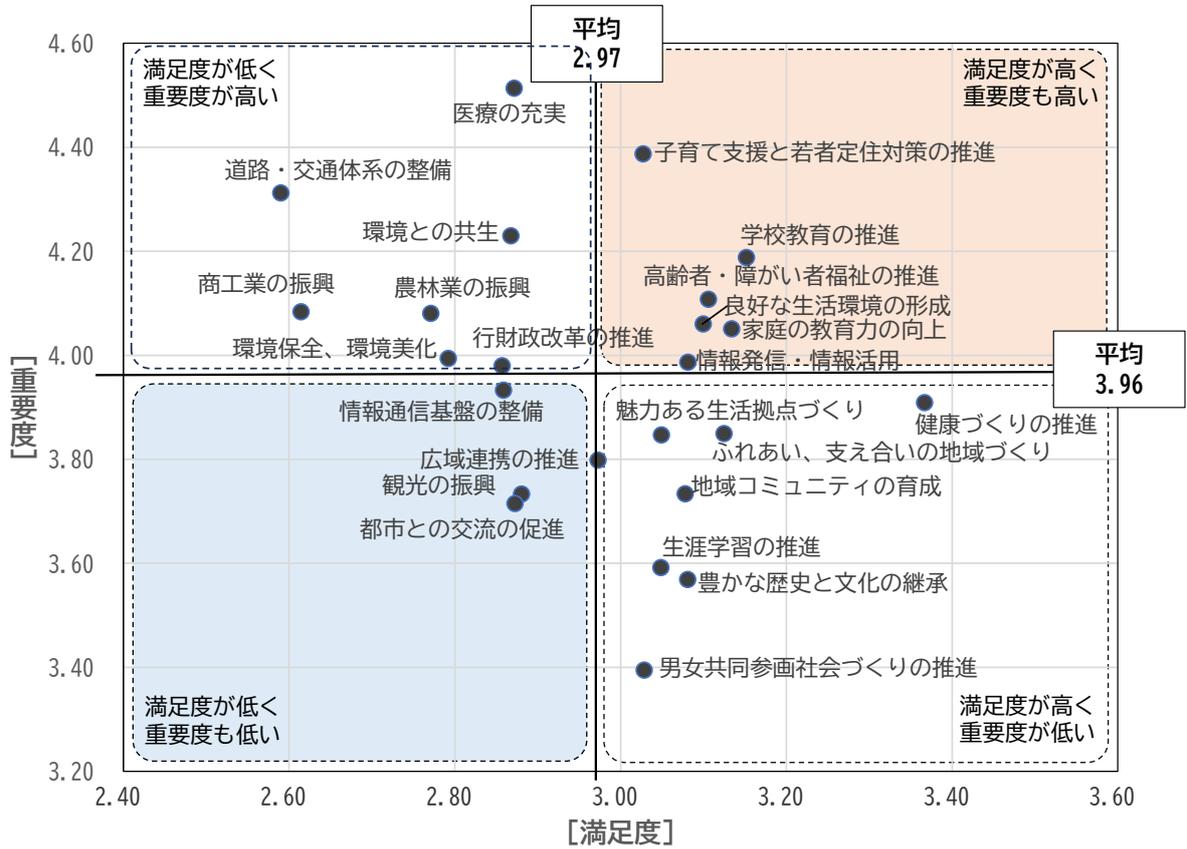
- 年齢3区分別の“青年層”は、【⑩子育て支援と若者定住対策の推進】が最も高く、“壮年層”及び“高齢層”、居住地区別、性別では、【⑦医療の充実】が最も高くなっています。一方、最も低い項目は、年齢3区分別の“高齢層”が【⑱観光の振興】で、それ以外は【⑮男女共同参画社会づくりの推進】となっています。

項目	年齢3区分別			居住地区別			
	青年層	壮年層	高齢層	油木地区	神石地区	豊松地区	三和地区
①魅力ある生活拠点づくり	3.97	3.74	3.75	3.82	3.71	3.93	3.89
②良好な生活環境の形成	4.10	4.08	3.92	4.09	4.03	3.97	4.08
③環境との共生	4.13	4.29	4.33	4.31	4.15	4.19	4.22
④景観保全、環境美化	3.98	4.01	4.02	4.08	3.81	3.90	4.05
⑤地域コミュニティの育成	3.71	3.70	3.86	3.72	3.62	3.68	3.81
⑥健康づくりの推進	3.86	3.87	4.12	3.91	3.89	3.86	3.93
⑦医療の充実	4.50	4.55	4.46	4.52	4.44	4.63	4.51
⑧高齢者・障がい者福祉の推進	3.97	4.23	4.17	4.20	4.04	4.11	4.08
⑨子育て支援と若者定住対策の推進	4.51	4.32	4.25	4.37	4.37	4.44	4.40
⑩ふれあい、支え合いの地域づくり	3.73	3.87	4.07	3.94	3.81	3.71	3.85
⑪学校教育の推進	4.27	4.13	4.15	4.14	4.13	4.22	4.24
⑫家庭の教育力の向上	4.05	4.03	4.10	3.98	4.02	4.00	4.12
⑬生涯学習の推進	3.56	3.54	3.79	3.63	3.50	3.60	3.61
⑭豊かな歴史と文化の継承	3.51	3.54	3.78	3.71	3.49	3.57	3.53
⑮男女共同参画社会づくりの推進	3.35	3.33	3.64	3.55	3.36	3.27	3.35
⑯農林業の振興	4.03	4.11	4.13	4.23	3.89	3.85	4.14
⑰商工業の振興	4.06	4.11	4.10	4.17	3.91	4.06	4.13
⑱観光の振興	3.88	3.62	3.63	3.71	3.78	3.52	3.78
⑲都市との交流の促進	3.74	3.68	3.74	3.84	3.70	3.39	3.72
⑳道路・交通体系の整備	4.28	4.32	4.38	4.42	4.35	4.28	4.24
㉑情報通信基盤の整備	4.05	3.90	3.73	3.99	3.84	3.96	3.94
㉒行財政改革の推進	3.87	4.00	4.21	4.09	3.77	4.03	4.01
㉓情報発信・情報活用	3.94	3.99	4.06	4.15	3.84	4.08	3.93
㉔広域連携の推進	3.70	3.79	4.04	3.90	3.64	3.83	3.80
平均	3.95	3.95	4.02	4.02	3.88	3.92	3.97

項目	性別	
	男性	女性
①魅力ある生活拠点づくり	3.82	3.87
②良好な生活環境の形成	4.03	4.09
③環境との共生	4.17	4.29
④景観保全、環境美化	3.94	4.05
⑤地域コミュニティの育成	3.62	3.84
⑥健康づくりの推進	3.77	4.03
⑦医療の充実	4.46	4.56
⑧高齢者・障がい者福祉の推進	3.99	4.21
⑨子育て支援と若者定住対策の推進	4.35	4.43
⑩ふれあい、支え合いの地域づくり	3.73	3.96
⑪学校教育の推進	4.14	4.23
⑫家庭の教育力の向上	3.99	4.10
⑬生涯学習の推進	3.53	3.65
⑭豊かな歴史と文化の継承	3.52	3.61
⑮男女共同参画社会づくりの推進	3.32	3.46
⑯農林業の振興	4.06	4.10
⑰商工業の振興	4.10	4.08
⑱観光の振興	3.75	3.72
⑲都市との交流の促進	3.71	3.72
⑳道路・交通体系の整備	4.32	4.31
㉑情報通信基盤の整備	4.03	3.84
㉒行財政改革の推進	3.98	0.00
㉓情報発信・情報活用	3.92	4.04
㉔広域連携の推進	3.83	3.77
平均	3.92	3.83

## 満足度×重要度の分析

- 横軸に満足度、縦軸に重要度の2次元グラフで表示して合わせてみることで、満足度と重要度の関係について分析します。
- 満足度、重要度の平均値で区切られた4つの政策群のうち、左下（図表の薄青色分野）は満足度も重要度も低く、これまでの取り組みの方向を見直すことが必要です。



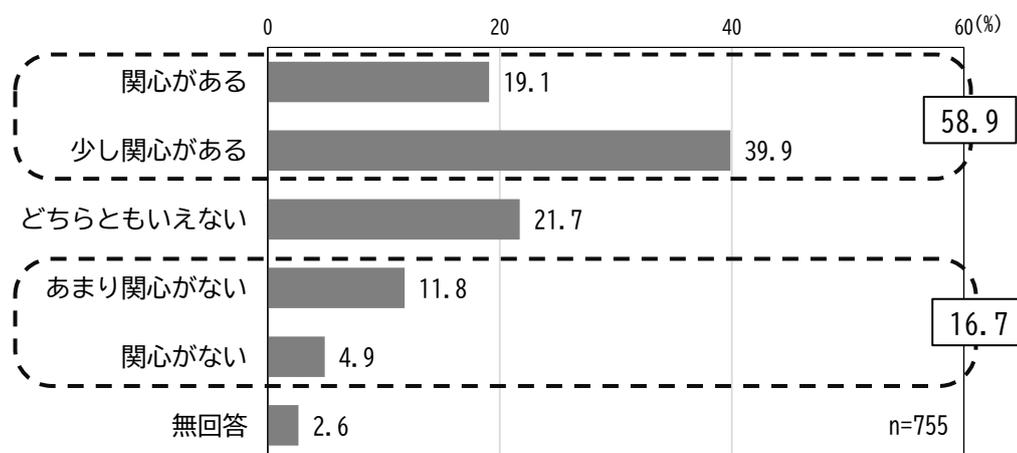
項目	満足度	重要度
①魅力ある生活拠点づくり	3.05	3.85
②良好な生活環境の形成	3.10	4.06
③環境との共生	2.87	4.23
④景観保全、環境美化	2.79	3.99
⑤地域コミュニティの育成	3.08	3.73
⑥健康づくりの推進	3.37	3.91
⑦医療の充実	2.87	4.51
⑧高齢者・障がい者福祉の推進	3.11	4.11
⑨子育て支援と若者定住対策の推進	3.03	4.39
⑩ふれあい、支え合いの地域づくり	3.12	3.85
⑪学校教育の推進	3.15	4.19
⑫家庭の教育力の向上	3.13	4.05
⑬生涯学習の推進	3.05	3.59
⑭豊かな歴史と文化の継承	3.08	3.57
⑮男女共同参画社会づくりの推進	3.03	3.39
⑯農林業の振興	2.77	4.08
⑰商工業の振興	2.61	4.08
⑱観光の振興	2.88	3.73
⑲都市との交流の促進	2.87	3.72
⑳道路・交通体系の整備	2.59	4.31
㉑情報通信基盤の整備	2.86	3.93
㉒行財政改革の推進	2.86	3.98
㉓情報発信・情報活用	3.08	3.99
㉔広域連携の推進	2.97	3.80
平均	2.97	3.96

## 4 住民参画等について

### ① まちづくりへの関心の有無

問8 あなたは、まちづくりへの関心はありますか。(1つに○印)

- 「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』が58.9%（実数による算出）、一方、「あまり関心がない」と「関心がない」を合わせた『関心がない』が16.7%となっています。
- 『関心がある』は、年齢3区分別では“高齢層”（63.3%）が、居住地区別では“三和地区”（66.8%）が、性別では“男性”（60.7%）が、それぞれ高くなっています。

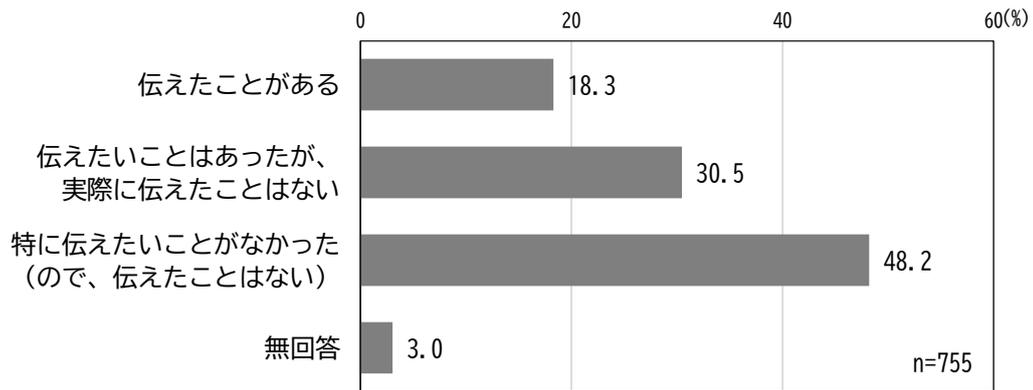


	合計	問8 まちづくりへの関心はありますか						統合		
		関心がある	少し関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない	無回答	『関心がある』	『関心がない』	
全体	755	144	301	164	89	37	20	58.9	16.7	
	100.0	19.1	39.9	21.7	11.8	4.9	2.6			
問1 3区 ②分 年齢	青年層	320	70	119	71	37	17	6	59.1	16.9
		100.0	21.9	37.2	22.2	11.6	5.3	1.9		
	壮年層	281	38	121	64	35	17	6	56.6	18.5
	100.0	13.5	43.1	22.8	12.5	6.0	2.1			
	高齢層	147	35	58	29	17	3	5	63.3	13.6
	100.0	23.8	39.5	19.7	11.6	2.0	3.4			
問1 ③居住 地区	油木地区	195	34	73	54	20	7	7	54.9	13.8
		100.0	17.4	37.4	27.7	10.3	3.6	3.6		
	神石地区	154	25	52	38	26	9	4	50.0	22.7
		100.0	16.2	33.8	24.7	16.9	5.8	2.6		
	豊松地区	82	15	32	22	5	7	1	57.3	14.6
	100.0	18.3	39.0	26.8	6.1	8.5	1.2			
	三和地区	316	69	142	49	37	14	5	66.8	16.1
	100.0	21.8	44.9	15.5	11.7	4.4	1.6			
問1 ①性別	男性	349	86	126	78	33	22	4	60.7	15.8
		100.0	24.6	36.1	22.3	9.5	6.3	1.1		
	女性	398	57	173	86	54	15	13	57.8	17.3
	100.0	14.3	43.5	21.6	13.6	3.8	3.3			
	その他	1	0	0	0	1	0	0	0.0	100.0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0			

② まちづくりに関する意見・要望を町に伝えたことの有無

問9 これまでに、神石高原町のまちづくりに関してのあなたのご意見・ご要望を町に伝えたことがありますか。(1つに○印)

- 「伝えたことがある」が18.3%となっています。
- 「伝えたことがある」は、年齢3区分別では大きな差はなく、居住地区別では“三和地区”（21.8%）が最も高く、性別では“男性”（21.5%）が“女性”（15.8%）に比べ高くなっています。



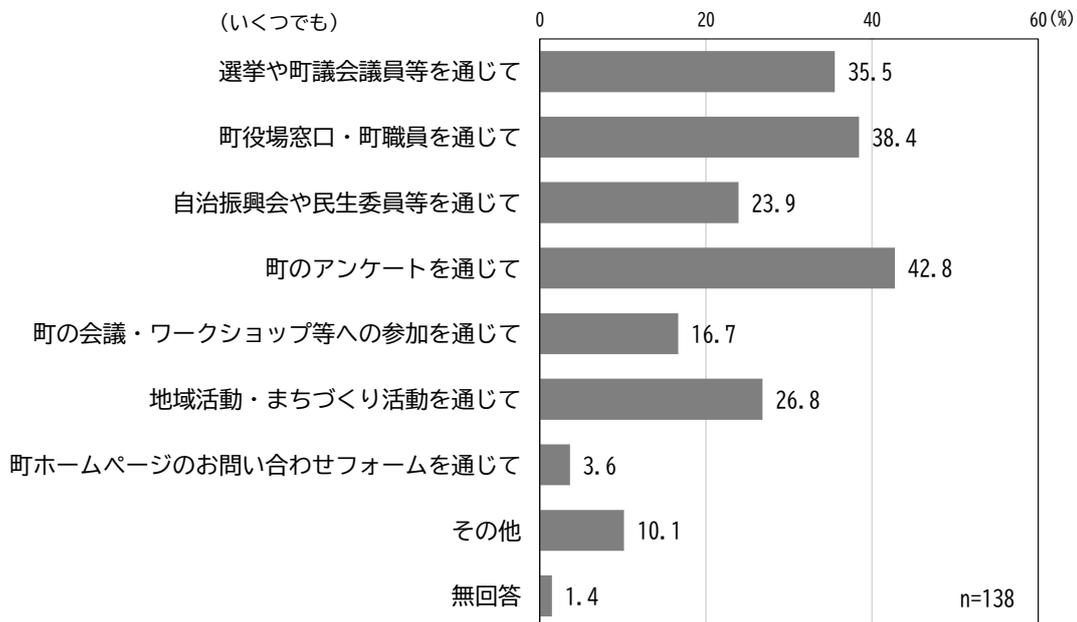
		合計	問9 まちづくりの意見等を町に伝えたことがありますか			
			伝えたことがある	伝えたいことはあったが、実際に伝えたことはない	特に伝えたいことがなかった(ので、伝えたことはない)	無回答
全体		755 100.0	138 18.3	230 30.5	364 48.2	23 3.0
問3 1区 ②分 年齢	青年層	320 100.0	60 18.8	76 23.8	178 55.6	6 1.9
	壮年層	281 100.0	52 18.5	99 35.2	128 45.6	2 0.7
	高齢層	147 100.0	26 17.7	53 36.1	57 38.8	11 7.5
問1 ③居住 地区	油木地区	195 100.0	32 16.4	56 28.7	100 51.3	7 3.6
	神石地区	154 100.0	22 14.3	41 26.6	85 55.2	6 3.9
	豊松地区	82 100.0	15 18.3	28 34.1	36 43.9	3 3.7
	三和地区	316 100.0	69 21.8	102 32.3	141 44.6	4 1.3
問1 ①性別	男性	349 100.0	75 21.5	115 33.0	153 43.8	6 1.7
	女性	398 100.0	63 15.8	112 28.1	209 52.5	14 3.5
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

### ③ 伝えた方法

※問9で「1」に○をつけた方におたずねします。

問9-1 どのようにして伝えましたか。(○はいくつでも)

- 「町のアンケートを通じて」が42.8%で最も高くなっています。
- 年齢3区分別では、“青年層”は「町のアンケートを通じて」(55.0%)が、“壮年層”は「町役場窓口・町職員を通じて」(44.2%)が、“高齢層”は「選挙や町議会議員等を通じて」(42.3%)が、それぞれ最も高くなっています。
- 居住地区別では、“油木地区”は「地域活動・まちづくり活動を通じて」が、“神石地区”及び“三和地区”は「町のアンケートを通じて」が、“豊松地区”は「選挙や町議会議員等を通じて」が、それぞれ最も高くなっています。



	合計	問9-1 伝えた仕方									
		選挙や町議会議員等を通じて	町役場窓口・町職員を通じて	自治振興会や民生委員等を通じて	町のアンケートを通じて	町の会議・ワークショップ等への参加を通じて	地域活動・まちづくり活動を通じて	町ホームページのお問い合わせフォームを通じて	その他	無回答	
全体	138 100.0	49 35.5	53 38.4	33 23.9	59 42.8	23 16.7	37 26.8	5 3.6	14 10.1	2 1.4	
問 3 区 分 年 齢	青年層	60 100.0	19 31.7	20 33.3	9 15.0	33 55.0	15 25.0	24 40.0	3 5.0	7 11.7	0 0.0
	壮年層	52 100.0	19 36.5	23 44.2	14 26.9	18 34.6	4 7.7	9 17.3	1 1.9	5 9.6	1 1.9
	高齢層	26 100.0	11 42.3	10 38.5	10 38.5	8 30.8	4 15.4	4 15.4	1 3.8	2 7.7	1 3.8
問 1 ③ 居 住 地 区	油木地区	32 100.0	12 37.5	12 37.5	12 37.5	11 34.4	7 21.9	14 43.8	2 6.3	4 12.5	0 0.0
	神石地区	22 100.0	8 36.4	9 40.9	5 22.7	10 45.5	3 13.6	5 22.7	1 4.5	1 4.5	1 4.5
	豊松地区	15 100.0	8 53.3	7 46.7	5 33.3	6 40.0	3 20.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	三和地区	69 100.0	21 30.4	25 36.2	11 15.9	32 46.4	10 14.5	14 20.3	2 2.9	9 13.0	1 1.4

- 性別では、“男性”は「選挙や町議会議員等を通じて」が、“女性”は「町のアンケートを通じて」が、それぞれ最も高くなっています。

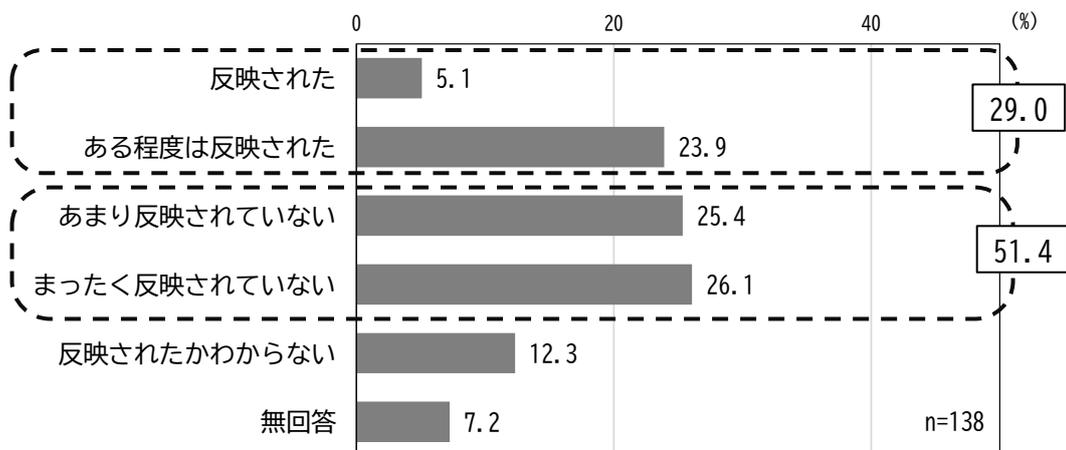
	合計	問9-1 伝えた仕方									
		選挙や町議会議員等を通じて	町役場窓口・町職員を通じて	自治振興会や民生委員等を通じて	町のアンケートを通じて	町の会議・ワークショップ等への参加を通じて	地域活動・まちづくり活動を通じて	町ホームページのお問い合わせフォームを通じて	その他	無回答	
全体	138 100.0	49 35.5	53 38.4	33 23.9	59 42.8	23 16.7	37 26.8	5 3.6	14 10.1	2 1.4	
問1 ①性別	男性	75 100.0	35 46.7	31 41.3	28 37.3	27 36.0	12 16.0	23 30.7	2 2.7	7 9.3	1 1.3
	女性	63 100.0	14 22.2	22 34.9	5 7.9	32 50.8	11 17.5	14 22.2	3 4.8	7 11.1	1 1.6
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

#### ④ 伝えたことがまちづくり等に反映されたかどうか

※問9で「1」に○をつけた方におたずねします。

問9-2 あなたが伝えたことはまちづくりや町の計画に反映されたと思いますか。(1つに○印)

- 「反映された」と「ある程度は反映された」を合わせた『反映された』が29.0%、一方、「あまり反映されていない」と「まったく反映されていない」を合わせた『反映されていない』が51.4%（実数による算出）となっています。
- 『反映されていない』は、年齢3区分別では“壮年層”（61.5%）が最も高く、居住地区別では“神石地区”以外は5割を超え、性別では“男性”（52.0%）と“女性”（50.8%）で大きな差がありません。



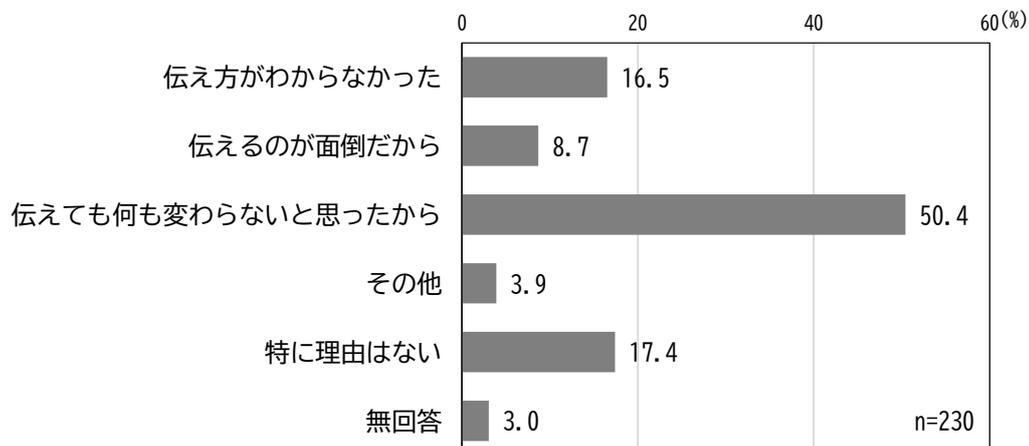
	合計	問9-2 伝えたことは反映されたと思いますか						統合		
		反映された	ある程度は反映された	あまり反映されていない	まったく反映されていない	反映されたかわからない	無回答	『反映された』	『反映されていない』	
全体	138 100.0	7 5.1	33 23.9	35 25.4	36 26.1	17 12.3	10 7.2	29.0	51.4	
問3 1区 ②年齢	青年層	60 100.0	3 5.0	20 33.3	14 23.3	14 23.3	8 13.3	1 1.7	38.3	46.7
	壮年層	52 100.0	3 5.8	5 9.6	14 26.9	18 34.6	6 11.5	6 11.5	15.4	61.5
	高齢層	26 100.0	1 3.8	8 30.8	7 26.9	4 15.4	3 11.5	3 11.5	34.6	42.3
問1 ③居住地区	油木地区	32 100.0	1 3.1	7 21.9	6 18.8	10 31.3	6 18.8	2 6.3	25.0	50.0
	神石地区	22 100.0	1 4.5	9 40.9	6 27.3	4 18.2	1 4.5	1 4.5	45.5	45.5
	豊松地区	15 100.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	6 40.0	1 6.7	2 13.3	26.7	53.3
	三和地区	69 100.0	4 5.8	14 20.3	21 30.4	16 23.2	9 13.0	5 7.2	26.1	53.6
問1 ①性別	男性	75 100.0	6 8.0	19 25.3	20 26.7	19 25.3	5 6.7	6 8.0	33.3	52.0
	女性	63 100.0	1 1.6	14 22.2	15 23.8	17 27.0	12 19.0	4 6.3	23.8	50.8
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.0	0.0

### ⑤ 意見や要望を伝えなかった理由

※問9で「2」に○をつけた方におたずねします。

問9-3 あなたのご意見・ご要望を伝えなかったのはなぜですか。(1つに○印)

- 「伝えても何も変わらないと思ったから」が50.4%で最も高く、他には「特に理由はない」(17.4%)、「伝え方がわからなかった」(16.5%)などとなっています。
- 年齢3区分別、居住地区別、性別にみても、「伝えても何も変わらないと思ったから」が、それぞれ最も高くなっています。また、「伝え方がわからなかった」は、年齢3区分別では“青年層”(21.1%)が、居住地区別では“三和地区”(23.5%)が、2割を超えています。



	合計	問9-3 伝えなかった理由						
		伝え方が わからな かった	伝えるの が面倒だ から	伝えても 何も変わ らないと 思ったか ら	その他	特に理由 はない	無回答	
全体	230 100.0	38 16.5	20 8.7	116 50.4	9 3.9	40 17.4	7 3.0	
問 3 区 ② 分 年 齢	青年層	76 100.0	16 21.1	9 11.8	35 46.1	5 6.6	11 14.5	0 0.0
	壮年層	99 100.0	18 18.2	6 6.1	47 47.5	3 3.0	20 20.2	5 5.1
	高齢層	53 100.0	4 7.5	5 9.4	33 62.3	1 1.9	8 15.1	2 3.8
問 1 ③ 居 住 地 区	油木地区	56 100.0	4 7.1	11 19.6	27 48.2	2 3.6	10 17.9	2 3.6
	神石地区	41 100.0	8 19.5	1 2.4	27 65.9	2 4.9	3 7.3	0 0.0
	豊松地区	28 100.0	2 7.1	1 3.6	17 60.7	1 3.6	6 21.4	1 3.6
	三和地区	102 100.0	24 23.5	7 6.9	43 42.2	4 3.9	20 19.6	4 3.9
問 1 ① 性 別	男性	115 100.0	17 14.8	13 11.3	62 53.9	4 3.5	17 14.8	2 1.7
	女性	112 100.0	21 18.8	7 6.3	52 46.4	5 4.5	22 19.6	5 4.5
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## 5 これからのまちづくりについて

問10 あなたは、神石高原町を一層魅力的なまちにするために、増やしたいもの(こと)や減らしたいもの(こと)がありますか。それぞれ1つご記入ください。

### ① 最も増やしたいもの、増えて欲しいもの(こと)

● 600人から699件の記述がありました。

意見例	件数 (件)
人口	205
人口、人、子ども、若者、成人、高齢者、住民、中間層(20~40歳)、定住者、移住者、Uターン者、転入者、子育て世帯、大家族、関係人口、神石高原町のファン	
商業施設	196
商店、小売店舗、コンビニ、スーパー、ショッピングモール、ドラッグストア、食料品店、飲食店、ホームセンター、遊べる場所、個性的なお店、金融機関	
働く場	78
雇用、仕事、職場、安定した企業、大手企業、充実した職場、収入の安定した就業先、労働条件の整った働き場所、色々な職種、高齢者でも働ける場所	
交通環境	35
交通機関(バス、タクシー等)、交通の便(バスの本数)、道路の整備・管理(まっすぐな道、きれいな道路、路肩の草刈り、凍結しない道路、歩行者や自転車にも安全な道路)、自転車専用レーン、ライドシェアの特区での導入、交通対策(タクシー券や巡回バス等)、作業道の開設	
観光関連	32
観光客、観光スポット、観光施設、観光となるイベント・場所、豊かな自然を活用したアクティビティ施設、気軽にリノベーションされた古民家、道の駅182ステーションの更なる強化、町の知名度(神石牛等)	
医療・福祉・保健関連	32
医療：医療施設(小児科、小児歯科、病院、緊急医療、病院の設備)、医師、看護師 福祉：保護施設、介護福祉施設、一人暮らしやお年寄りのお手伝い、介護士 保健：健康づくり施設、トレーニングルーム 買い物、医療、住民福祉が完結するような生活拠点施設(地区)	
生活環境	20
粗大ごみの収集日、ゴミの捨て場所、街灯、有害鳥獣駆除対策、定住者となりうる人への住まい環境を補助、住宅・アパート、在宅勤務者向けのWi-Fiのあるコワーキングスペース等、神石で独身でも住める町営住宅	
人材・担い手	15
農業の担い手、産業の担い手、頭脳明晰で優秀な人材、地域を盛り上げる人、高原町を本当に好きと思う人、女性のリーダー、役割分担できるヒト、海外からの労働力、地元を自慢できる町民や他人を大事にできる町民	
ネット環境	14
インターネットの速度、回線、通信電波、良好なネット環境、光回線	

意見例	件数 (件)
その他の行政運営	11
情報発信、住みたいと思える町、となり近所の町づくり、人口増になるような施設、役場職員の質、町長さんの地元を見る目、ソフト面の充実、利己的でない将来を見据えた良識ある人の意見を聞いてもらえる場	
子育て支援	11
子どもに対する支援（給食費を全額公費に）、子どもが安心して楽しく暮らせる環境、遊具がたくさんある公園、未就学の子をみてもらえるところ、子ども食堂、室内遊具	
経済面	10
お金、家庭収入、賃金、高齢者・成人・社会人への補助、定住者への補助金の充実	
交流	8
イベント、大会、高齢者でも参加できる行事、町が活気づくようなイベント、人流、歩きでも他の人と会って話せる場所	
教育・文化	6
文化的催し、神石高原町の歴史を次世代の子どもたちに伝承する取り組み、子どもたちの道徳の本を使っの授業、子供たちの学習する場や体験、大学	
自然環境	5
川、魚、蛍やツバメ、野ウサギ、絶滅危惧種の動植物、美しい自然景観、森と人里の境界となる里山	
その他	17
今まで通りで良いと思う、人々の温かい心、笑顔の子ども達、町民の笑顔、地域の活気、牛、郷土料理、穏やかな人、J I Nブランド、身近な人が困っていることを気軽に言える場所、物流	
特になし	4
特になし (3)、分からない	
合計	699

② 最も減らしたい、減って欲しいもの（こと）

● 530人から556件の記述がありました。

意見例	件数 (件)
有害鳥獣等	169
有害鳥獣、いのしし、熊、猿、鹿、カラス、アナグマ、人をおびやかしたり、田畑を荒らす けもの、獣害、侵略的な外来種、ブタクサ、セイタカアワダチソウ、害虫、カメムシ、百足	
ゴミ関連	68
ゴミ、家庭ゴミ、ポイ捨てゴミ、粗大ごみ、町外からのゴミ、不法投棄、放置ゴミ、道路の ゴミ、農業から出るプラスチックゴミ、食品ロス、ゴミの分別の種類、ゴミ袋の有料、ゴミ 袋の価格、ペットボトルのリサイクル回収、地域ごとで粗大ごみの回収を年に3回ぐらいに してほしい。ゴミ袋はちゃんと使用しているのだから。町も年寄りの多い町とわかっている はずなのでお願いしたい、ゴミの処分にかかる袋は環境的にも費用負担的にも減らすべき。 役場敷地内などに、エコパークなどの資源ゴミ回収所(防犯カメラ付)などを設けて分別した ゴミを捨てられるようにして欲しい	
空き家	57
空き家、無人家屋（空き屋）、廃屋、空き家（店舗含む）、崩れかかった危険を感じる空き家	
行財政関連	54
税金、行政のムダ、必要のない公共工事、公務員のボーナス、なくてよい。ただし頑張っ ている方にはたくさんあげてほしい、役場の不正事、人数に見合っていない建物（保育所など は少なくてよいのでは）、ふれあいタクシー代、役場の職員、役場に行く手続き、各地域公民 館、箱物、町営住宅の家賃、町のことを第一に考えない公務員や議員、町長、町外に住んで いる町職員、住民が望んでいない政策を強引に押し進めること	
手入れされていない山や農地等	40
手入れされていない里山、放置林、管理していない植林、耕作放棄地、休耕地、荒地、有 効活用できていない土地	
地域活動	35
行事、無理してする地域行事、過度な地域ぐるみの行事への参加、地域で行う草刈り、昔か ら変わらない旧町村のイベント、役員、各種役員の負担、消防団、自治振興会、PTAなどで拘 束される時間、地域との繋がりが希薄な孤立した高齢者等のみの世帯（見守りが十分に行き 届くように）、人口減少による会や役の押し付け、消防大会出初めは挨拶とかいらなすぎる し、消防訓練だけで良い	
安心・安全でないこと	23
野焼き、有害物質、災害（斜面に家があり大雨が降ると不安）、災害発生する危険な場所、樹 木の過度な伐採（植林していないので）、交通事故、高齢者の一人暮らしを狙った犯罪、病気	
人口減少	17
人口減少、若者の町外への流出、転出者	
環境未整備	16
整備不良な建物や道路、雑草や雑木の茂った道路、歩道の暗闇、細い山道	
住民意識	11
村意識、田舎の風土、世代間ギャップによるわだかまり等、同調圧力による合意形成、利己 主義的な考え方や行動、差別やいじめ	

意見例	件数 (件)
野良猫・野良犬等	10
野良猫、野良犬、交通事故での野生動物の死亡、動物との接触事故、PWJの犬	
経済面	4
どうにもならないけど、冬が寒すぎる。冬用タイヤとかお金がかかる、電気代や食費、ガソリンなど燃料費、田舎であることによりかかる経費負担	
その他	25
何日も他人と話をしない人の数、人との関わりない為の孤立化、面倒なしがらみ、農業用資材、農用地の太陽光パネル、雪、失業者、私利私欲の人	
なし、分からない	27
特にない、ない、分からない、この街にどのような問題があるのか、把握していません	
合計	556

③ これからも変わらないで欲しいもの（こと）

● 503人から525件の記述がありました。

意見例	件数 (件)
自然環境、景色、風景	305
自然、自然環境、緑、自然の豊かさ、虫の生息する環境、ホタル、ヤマユリ、自然の虫、美しい自然、きれいな空気、生態系、水棲生物が豊富に生息できる環境、空気や星や水がとてもきれい、きれいな川やきれいな山。里山の風景、四季折々の景色、春夏秋冬・朝昼晩のきれいな景色	
人間関係、住民意識	49
人間関係、人々のつながり、住民が高齢になり助け合いの気持ち、厚い人情、笑顔であいさつのできる子供達、温かい心、地域住民の支え合いの心、温かい心、郷土愛	
行政対策	33
子育て支援、様々な支援（ガソリン2000円で500円支援等、新鮮なアイデアが魅力的です）、森林の保護、農業振興支援、地域のバス運行、河川の水対策、害獣対策、人口減対策、道路整備	
地域環境	22
コミュニティー（居心地の良さ）、田舎ならではののどかな環境、地域のつながりの場、地域の行事(祭りなど)、現在の生活、地域での見守り	
施設等	16
病院などの公共施設、福祉施設、保育所、小学校、中学校、油木高校存続、公園、子供達が安心して遊べる場所、道の駅	
歴史・文化・教育	15
伝統行事、神事、地域の伝統文化「神祇、祭り、盆踊りなど」。充実した教育制度	
人口	9
人口、子どもの数、町民人口減（町外への流出）、田舎の良い景観を保持できるだけの住民の数	
特産物、生産物、担い手	9
神石の特産物、神石牛、生産物（酒とか葡萄）、道の駅に出荷されている意欲のある生産者、里山と農産物を生産する後継者	
町としての存続	6
町として存続しつづけること、役場、農協、郵便局、バス等がなくならないこと、神石高原町という名前	
イベント	5
車輪村などの外から人を集めるイベント、ふれあいフェスティバル、ホテル祭り	
その他	26
安心、安全（地震は運の問題だけ）、挑戦する姿勢、今まで通りで良いと思う、派手な事や目立つ事は要らないので子や孫が帰って安心できる場所で有り続けて欲しい、穏やかな時間、他市町村とのつながり、美しい町	
なし、分からない	30
特になし、なし、ありません、分からない	
合計	525